

令和5年度（2023年度）

みんなの川の環境調査
－川の生き物と水質を調べてみよう－

報告書

令和6年（2024年）2月

熊本県環境生活部環境局環境保全課

はじめに

本報告書は、環境を守ることに関心のある団体や学校等が身近な河川等において、指標となる生物や水質等の水環境調査を実施した結果をとりまとめたものです。

河川等の水質を改善するためには、汚れの原因となる工場・事業場や一般家庭等からの排水対策も必要ですが、それとともに地域の人々が水に対して関心を持ち、水を汚さないよう意識していただくことが重要です。また、今日では、これまで私たちが忘れかけていた自然とのふれあいや水辺での遊び、水生生物の生息環境の保全などを求めようという志向が高まっており、いわゆる快適な「水環境」を保全する必要があります。

このような背景から、県では平成6年度（1994年度）に水質調査、川底調査、底生動物調査の3部門からなる啓発用テキスト「川の水環境・調査のてびき」を作成し、身近な水環境を保全するための啓発に努めてきました。中でも底生動物調査は、河川の底生動物25種を指標生物として選定し、水環境を「Ⅰ：快適な水環境」、「Ⅱ：親しめる水環境」、「Ⅲ：不快を感じない水環境」、「Ⅳ：多少不快な水環境」及び「Ⅴ：不快な水環境」の5段階で評価する「熊本県方式」を用いています。

底生動物の生息状況を見ると、底生動物は自分の餌を確保する場所が必要であり、また、自身を守るために石ころや泥を必要とすることもあります。特に水生昆虫では、水中から離れた水辺で繁殖する場合もあり、水質の快適さのみではなく、水温、水生植物、水辺環境等多くの要因が加わった総合的な水環境と関わりながら生息していることが分かります。こうしたことから、本調査においては単に「水質」ではなく「水環境」という表現を用いています。

最後に、本書をとりまとめるにあたり、調査に参加いただいた環境保全団体、学校や調査指導に協力いただいた関係機関の皆様に御礼申し上げます。

令和6年（2024年）2月
熊本県環境生活部環境局環境保全課

目 次

I. 調査の目的、方法、結果の概要 -----	1
II. 各団体の調査結果 -----	7

I 調査の目的、方法、結果の概要

1 調査の目的

水質検査がその瞬間の水の状態を評価する方法であるのに対し、川に棲む水生生物（底生動物）の種類や数を調べると、より長期的な水環境を知ることができます。また、底生動物の調査には特殊な器材も不要なため、比較的簡単に実施できるという利点があります。

本調査は、環境保全団体や学校等（以下、「環境保全団体等」とする。）が「水生生物調査」や「水質の簡易調査（パックテスト）」を実施することにより、身近な川の水環境について関心を高め、地域における水環境保全活動を支援することを目的に実施しました。

2 調査方法

熊本県が作成した「川の水環境・調査のてびき」（平成7年3月発行、平成23年10月改訂、熊本県環境生活部環境局環境保全課）に準じ、水環境の快適さを表Ⅰ－1に示す5段階とし、川の地形と流域の土地利用状況（評価基礎点）、水質、川底、底生動物の4項目の評価を実施しました。

なお、調査は環境保全団体等が自ら企画し、県環境保全課及び管轄保健所等と協力して実施しました。

3 調査結果の概要

環境保全団体等28団体がのべ40地点で調査を実施し、のべ1,206人が参加しました。調査実施団体等の内訳は、環境保全団体関係が14団体、学校関係が14団体でした。

また、調査場所40地点の内訳からは、緑川水系（10地点）や坪井川水系（9地点）、菊池川水系（6地点）などで特に熱心な活動が実施されていることがうかがえました。

指標生物及び簡易水質調査結果（表Ⅰ－2）

生物から見た水環境評価では、調査地点21地点中、評価値Ⅰ「快適な水環境」が9地点、評価値Ⅱ「親しめる水環境」が4地点、評価値Ⅲ「不快を感じない水環境」5地点、評価値Ⅳ「多少不快な水環境」が3地点、評価値Ⅴ「不快な水環境」は0地点と多くの地点において比較的良好な結果が得られました。

一方、水質から見た水環境評価では、調査地点40地点中、評価値Ⅰ「快適な水環境」が17地点、評価値Ⅱ「親しめる水環境」が15地点、評価値Ⅲ「不快を感じない水環境」が5地点、評価値Ⅳ「多少不快な水環境」が3地点、評価値Ⅴ「不快な水環境」は0地点でした。

表 I - 1 川の水環境の快適さの表現（評価値）

階級	川の水環境の快適さ	例えば（感じることなど）
I	快適な水環境	清冽な水の冷たさを感じる さわやかに自然を楽しめる ヤマメ、タカハヤが生息している
II	親しめる水環境	水泳や水遊びができると感じる 水や水辺がこちよく感じる アユ、ウグイ、カワムツが生息している
III	不快を感じない水環境	素足で水の中に入れると感じる 川面や水辺に親しみを感じる ヨシノボリ、オイカワ、コイが生息している
IV	多少不快な水環境	素足では水の中に入りたくない 水辺に近づいて不快感がない程度 コイ、フナ、ナマズが生息している
V	不快な水環境	きたなくて、川では遊べないと感じる 水辺に近寄りたいたと感じない

表 I - 2 令和5年度（2023年度）における県内の団体の参加状況及び調査結果

調査番号	団体番号	調査項目	団体名	河川	水系	市町村名	調査地点名	参加数(のべ)	調査日	水質評価	生物評価
1	1	生物&水質	農村の豊かさ福祉を学ぶふるさと自然塾	竜野川	緑川	甲佐町	甲佐町上早川	30	7月30日	I	I
2	2	生物&水質	苓北町立都呂々小学校	都呂々川	都呂々川	苓北町	都呂々橋の下	13	10月24日	II	III
3	3	生物&水質	菊池市立花房小学校	菊池川	菊池川	菊池市	木庭橋付近	17	6月6日	I	I
4	4	水質	北甘木活動組織 北甘木親子会	矢形川	緑川	嘉島町	石塚橋下流右岸	53	8月20日	III	-
5				天水川	緑川	嘉島町	天水川3号橋下流右岸	53	8月20日	III	-
6						嘉島町	北甘木地内農業用千原ため池	53	8月20日	IV	-
7						嘉島町	北甘木地内集落内民家の地下水	53	8月20日	I	-
8	5	生物&水質	NPO法人コロポックル・プロジェクト	成道寺川	坪井川	熊本市	お手水の森駐車場前	17	7月2日	II	II
9				成道寺川	坪井川	熊本市	インター道路下	17	7月2日	II	I
10				成道寺川	坪井川	熊本市	柿原田んぼ下	17	7月2日	III	III
11	6	生物&水質	佐伊津地区振興会環境部会	隅田川	隅田川	天草市	玉の橋(下在郷)付近	22	7月28日	IV	IV
12	7	生物&水質	熊本市立向山小学校	白川	白川	熊本市	泰平橋南側	79	9月13日	IV	III
13	8	生物&水質	天草市社会福祉協議会 有明支所	東迫川	東迫川	天草市	赤崎体育館	15	8月17日	III	IV
14	9	生物&水質	菊池市立泗水東小学校 菊池管内環境活動協議会	日向川	菊池川	菊池市	菊池市泗水町永	50	10月3日	I	I
15	10	生物&水質	玉名市環境整備課	繁根木川	菊池川	玉名市	廣福寺橋周辺	10	7月29日	I	II
16	11	水質	九州テクニカルメンテナンス株式会社	坪井川	坪井川	熊本市	栄橋付近	4	8月26日	II	-
17				梶尾川	坪井川	熊本市	北部坪井橋付近	26	8月26日	II	-
18				坪井川	坪井川	熊本市	鶴羽田橋付近	22	8月26日	II	-
19				坪井川	坪井川	熊本市	平成大橋付近	17	9月2日	II	-
20				坪井川	坪井川	熊本市	高橋稲荷大橋付近	17	9月2日	III	-
21				井芹川	坪井川	熊本市	第1池上橋付近	17	9月2日	II	-
22				亀川	亀川	天草市	明亀橋付近	17	8月5日	II	-
23				亀川	亀川	天草市	樋渡橋付近	17	8月5日	I	-
24				木山川	緑川	益城町	荒瀬橋付近	9	8月6日	I	-
25				木山川	緑川	益城町	三竹橋付近	12	8月6日	I	-
26	木山川	緑川	益城町	五楽橋付近	9	8月6日	II	-			
27	12	生物&水質	天草市立栖本小学校 天草広域本部土木部維持管理課	河内川	河内川	天草市	天草市栖本町馬場	20	9月13日	II	II
28	13	生物&水質	天草市立牛深東小学校 天草広域本部土木部維持管理課	久玉川	久玉川	天草市	天草市牛深町久玉	13	10月13日	II	I
29	14	生物&水質	甲佐町立龍野小学校	竜野川	緑川	甲佐町	甲佐町上早川	130	9月12日	I	I
30	15	生物&水質	御船町立御船小学校	御船川	緑川	御船町	御船橋	77	9月28日	I	I

表 I - 2 令和5年度（2023年度）における県内の団体の参加状況及び調査結果（続き）

調査番号	団体番号	調査項目	団体名	河川	水系	市町村名	調査地点名	参加数 (のべ)	調査日	水質評価	生物評価
31	16	生物&水質	豊野町みどりの少年団	浜戸川	緑川	宇城市	浜戸川・小熊野川合流地点	25	9月23日	Ⅱ	Ⅲ
32	17	生物&水質	水俣市立袋小学校	袋川	袋川	水俣市	中流～下流	21	10月17日	I	Ⅲ
33	18	水質	大津町立大津北小学校 菊池管内環境活動協議会	矢護川	菊池川	大津町	矢護川公園	14	9月21日	I	-
34				平川	菊池川	大津町	大津北小学校近くの リフレッシュ広場付近	14	9月21日	I	-
35				地下水		大津町	大津町平川地区	14	9月21日	I	-
36				通潤用水	緑川	大津町	円形分水工	14	9月21日	I	-
37	19	生物&水質	錦町立一武小学校	大谷川	球磨川	錦町	錦町一武3040地先	43	10月17日	Ⅱ	Ⅳ
38	20	生物&水質	熊本県環境センター 南関町立南関第二小学校	関川	関川	南関町	南関第二小学校そば	21	9月5日	Ⅱ	Ⅱ
39	21	生物&水質	熊本県環境センター 水俣市立水俣第一小学校	湯出川	水俣川	水俣市	小崎公園付近	111	9月14日	I	I
40	22	生物&水質	熊本県環境センター 南関町立南関第四小学校	内田川	菊池川	南関町	柴尾橋付近	23	10月17日	I	I
								環境団体等	14		
								学校関係	14		
								のべ調査地点	40		
								のべ調査人数	1,206		

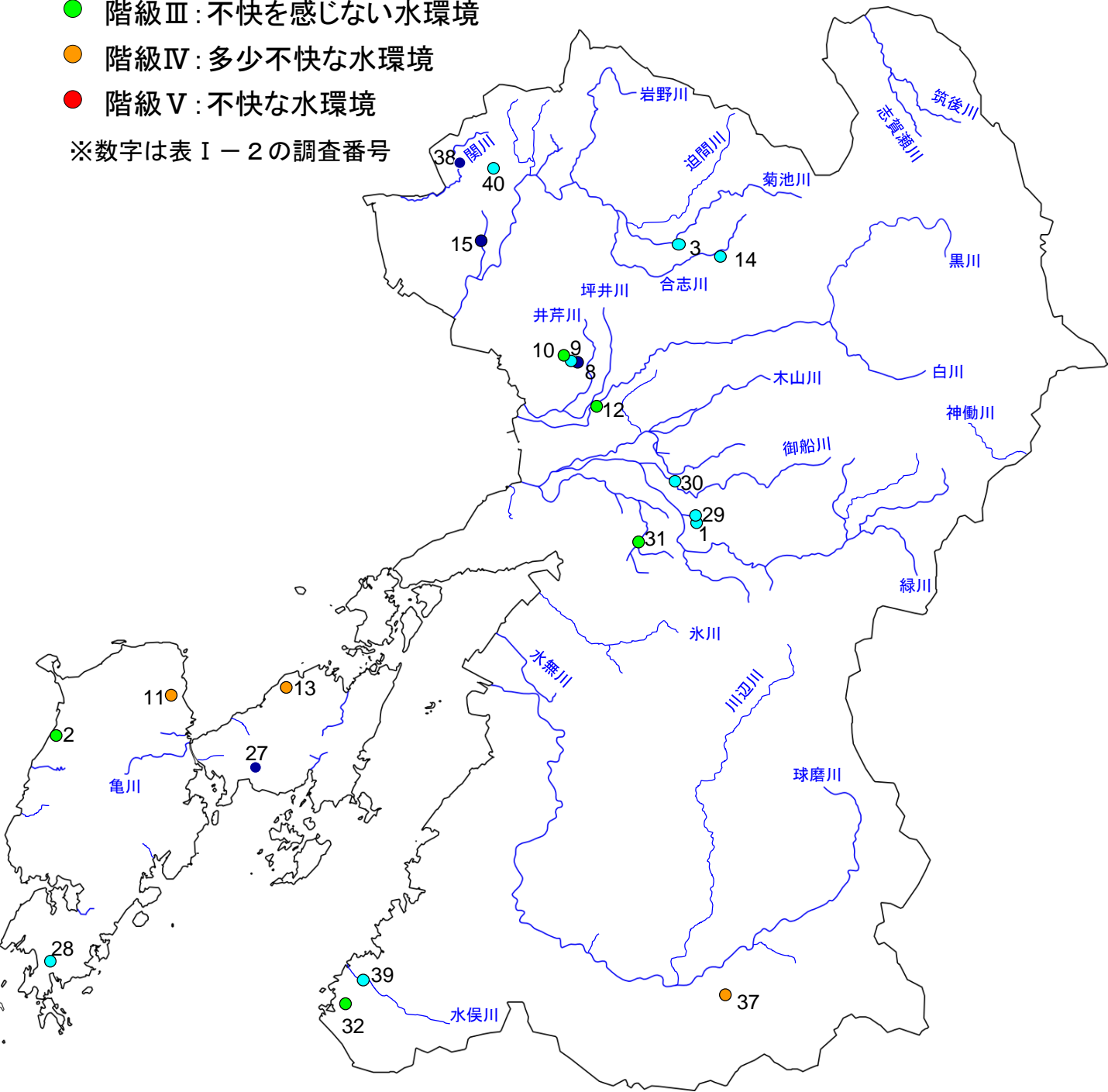
水系	合計
緑川	10
坪井川	9
菊池川	6

調査結果	水質	生物
I	17	9
Ⅱ	15	4
Ⅲ	5	5
Ⅳ	3	3
V	0	0
合計	40	21

※ 表中の記載内容は、各調査団体が提出した報告書から分かる範囲で記載しています。

- 階級Ⅰ：快適な水環境
- 階級Ⅱ：親しめる水環境
- 階級Ⅲ：不快を感じない水環境
- 階級Ⅳ：多少不快な水環境
- 階級Ⅴ：不快な水環境

※数字は表Ⅰ－２の調査番号



図Ⅰ－２ 指標生物評価結果マップ

Ⅱ 各団体の調査結果



川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	たつの川 (水系 緑川)		
調査地点名	上早川		
調査団体名	農村の豊かさと福祉を学ぶふるさと自然塾		
代表者名	参加人数	30 人	
連絡先住所			
調査年月日	令和5年7月30日	調査時間	9:17
調査日天候	くもり	気温	25℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2点 階級 III			

2. 水質を調べる

水温	22.1℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.8点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 1

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	●				
	7. ヒラタカゲロウ類	●				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ			○		
	14. ヒラタドロムシ					
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)					
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジュスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	4	1	1	
	最も多い種の数(●)	2				
	得点の合計	6	1	1		
底生動物による川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	都呂々川 (水系 都呂々川)		
調査地点名	都呂々橋の下		
調査団体名	苓北町立都呂々小学校		
代表者名	参加人数	13 人	
連絡先住所			
調査年月日	令和5年10月24日	調査時間	14:05
調査日天候	晴れ	気温	24 °C

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
			2.0	2.0
IV	多少不快な水環境	2.5	2.2	2.2
			2.4	2.4
V	不快な水環境	3.0	2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2点 階級 III			

2. 水質を調べる

水温	20 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.4点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.6点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくのと後で便利です。

- ・水が透明できれいだった。
- ・小さなタニシのような生き物がたくさんいた。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

4. 底生動物を調べる

階級	No. <small>しひょうせいぶつめい</small> 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類	●				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類		○			
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類					
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ			●		
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)					
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジュスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)				
	最も多い種の数(●)					
	得点の合計	2	1	3		
底生動物による川の水環境評価の判定		III				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	菊池川 (水系 菊池川)		
調査地点名	木庭橋付近		
調査団体名	菊池市立花房小学校		
代表者名	参加人数	17 人	
連絡先住所			
調査年月日	令和5年6月6日	調査時間	10:00~11:00
調査日天候	雨	気温	23℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)/2 = 2.5点 階級 IV			

2. 水質を調べる

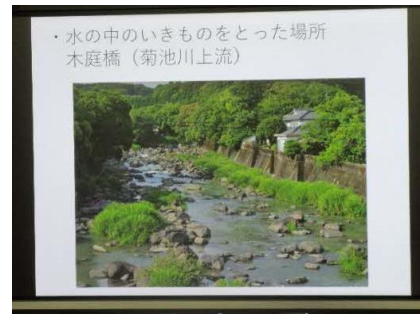
水温	℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 点 階級			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくのと後で便利です。



菊池市広瀬の用水路の環境調査を行う予定でしたが降水量が少なく、前日に保健所の方と地域の方で協力して、びわ池近くの民家の井戸水を汲んでくださり、当日はそれを使って水質検査を行いました。透視度検査は行っていませんが80センチメートル以上だと思います。また、底生動物を調べるのは、菊池川上流の木庭橋付近の水に住む生き物を川の水とともに持ってきてくださり、分類を行いました。したがって、川底を調べることはできていません。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	●				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)		○			
	9. ヘビトンボ類		○			
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ			○		
	14. ヒラタドロムシ					
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)					
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ				○	
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類				○	
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジュスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	4	4	2	2
	最も多い種の数(●)	1				
	得点の合計	5	4	2	2	
底生動物による川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	矢形川 (水系 緑川)		
調査地点名	嘉島町北甘木地内(石塚橋下流右岸)		
調査団体名	北甘木活動組織・北甘木親子会		
代表者名	参加人数	53人(子供26大人27)	
連絡先住所			
調査年月日	令和5年8月20日	調査時間	AM9:00~
調査日天候	晴れ	気温	29℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点	$(A+B)/2 = 2.5$ 点 階級 IV		

2. 水質を調べる

水温	29℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点	$(a+b+c+d+e)/5 = 1.8$ 点 階級 III		

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点	$(f+g+h+i+j)/5 =$ 点 階級		

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくのと後で便利です。

※ 矢形川にメダカがいてビックリした。メダカは絶滅危惧種と聞いていたが、まだ矢形川にいるということは嘉島の川はまだ安全なんだと思いました。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	天水川 (水系 緑川)		
調査地点名	嘉島町北甘木地内(天水川3号橋下流右岸)		
調査団体名	北甘木活動組織・北甘木親子会		
代表者名	参加人数	53人(子供26大人27)	
連絡先住所			
調査年月日	令和5年8月20日	調査時間	AM9:00~
調査日天候	晴れ	気温	29℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	31℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.8点 階級 III			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 点 階級			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

※ 水が変わるごとに試薬が色々な色に変わるのが不思議でした。

※ 水を大切にしようと思った。メダカがいたからきれいな川なのかと思った。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	すいけい みどりかわ (水系 緑川)		
調査地点名	嘉島町北甘木地内(農業用千原ため池)		
調査団体名	北甘木活動組織・北甘木親子会		
代表者名	参加人数	53人(子供26大人27)	
連絡先住所			
調査年月日	令和5年8月20日	調査時間	AM9:00~
調査日天候	晴れ	気温	29℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点	(A+B)/2 = 2.5点 階級 IV		

2. 水質を調べる

水温	29℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点	(a+b+c+d+e)/5 = 2.4点 階級 IV		

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点	(f+g+h+i+j)/5 = 点 階級		

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

※ ため池の水は汚かった。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	すいけい みどりかわ (水系 緑川)		
調査地点名	嘉島町北甘木地内(集落内民家の地下水)		
調査団体名	北甘木活動組織・北甘木親子会		
代表者名	参加人数	53人(子供26大人27)	
連絡先住所			
調査年月日	令和5年8月20日	調査時間	AM9:00~
調査日天候	晴れ	気温	29℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 3点 階級 V			

2. 水質を調べる

水温	29℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 点 階級			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	成道寺川 (水系 坪井川)		
調査地点名	お手水の森駐車場前		
調査団体名	NPO法人コロボックル・プロジェクト		
代表者名	参加人数	17 人	
連絡先住所			
調査年月日	令和5年7月2日	調査時間	10:02~11:09
調査日天候	くもり	気温	26.5 °C

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 1.5点 階級 II			

2. 水質を調べる

水温	19 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.4点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロ	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類		●			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ			○		
	14. ヒラタドロムシ					
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)					
水環境 (IV) 多少不快な	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ				○	
	20. ミズムシ(等脚目)				○	
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジュスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	3	1	1	1
	最も多い種の数(●)	1	1	0	1	
	得点の合計	4	2	1	2	
底生動物による川の水環境評価の判定		II				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	成道寺川 (水系 坪井川)		
調査地点名	インター道路下		
調査団体名	NPO法人コロボックル・プロジェクト		
代表者名	参加人数	17 人	
連絡先住所			
調査年月日	令和5年7月2日	調査時間	11:17~11:50
調査日天候	くもり	気温	30℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
			2.0	2.0
IV	多少不快な水環境	2.5	2.2	2.2
			2.4	2.4
V	不快な水環境	3.0	2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2点 階級 III			

2. 水質を調べる

水温	20℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.6点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類	○				
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	●				
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類		●			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ			●		
	14. ヒラタドロムシ					
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジュスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	6	1	2	
	最も多い種の数(●)	4	1	1		
	得点の合計	10	2	3		
底生動物による川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	成道寺川 (水系 坪井川)		
調査地点名	柿原田んぼ下		
調査団体名	NPO法人コロボックル・プロジェクト		
代表者名	参加人数	17人	
連絡先住所			
調査年月日	令和5年7月2日	調査時間	12:00~12:30
調査日天候	くもり	気温	30℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2点 階級 III			

2. 水質を調べる

水温	20℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.8点 階級 III			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.4点 階級 IV			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	■				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ	■				
	4. チラカゲロウ	■				
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	■				
	7. ヒラタカゲロウ類	■				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)		■			
	9. ヘビトンボ類		■			
	10. マダラカゲロウ類		■			
	11. タニガワカゲロウ類		■			
	12. ブユ類・ガガンボ類		■			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ			■		
	14. ヒラタドロムシ			■		
	15. コカゲロウ類			■		
	16. コガタシマトビケラ			■		
	17. ユスリカ類(白・緑)			■		
水環境 (IV) 多少不快な	18. 貝類				■	
	19. サホコカゲロウ				■	
	20. ミズムシ(等脚目)				■	
	21. ヒル類				■	
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					■
	23. イトミズ類					■
	24. セスジュスリカ(赤)					■
	25. ホシチョウバエ					■
	得点の集計	出現した種の数(○+●)			5	1
	最も多い種の数(●)			1	0	
	得点の合計			6	1	
底生動物による川の水環境評価の判定		III				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	隅田川 (水系 隅田川水系)		
調査地点名	玉の橋(下在郷)付近		
調査団体名	佐伊津地区振興会環境部会		
代表者名	参加人数	22 人	
連絡先住所			
調査年月日	令和5年7月28日	調査時間	9:00~9:40
調査日天候	晴	気温	33.0℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点	$(A+B)/2 = 2.5$ 点 階級 IV		

2. 水質を調べる

水温	25.0℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点	$(a+b+c+d+e)/5 = 2.4$ 点 階級 IV		

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	1. 早瀬	2. 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点	$(f+g+h+i+j)/5 = 2.2$ 点 階級 III		

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	■				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ	■				
	4. チラカゲロウ	■				
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	■				
	7. ヒラタカゲロウ類	■				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)		■			
	9. ヘビトンボ類		■			
	10. マダラカゲロウ類		■			
	11. タニガワカゲロウ類		■			
	12. ブユ類・ガガンボ類		■			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ			■		
	14. ヒラタドロムシ			■		
	15. コカゲロウ類			■		
	16. コガタシマトビケラ			■		
	17. ユスリカ類(白・緑)			■		
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類				●	
	19. サホコカゲロウ				■	
	20. ミズムシ(等脚目)				■	
	21. ヒル類				■	
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					■
	23. イトミズ類					■
	24. セスジュスリカ(赤)					■
	25. ホシチョウバエ					■
	得点の集計	出現した種の数(○+●)				1
	最も多い種の数(●)				1	
	得点の合計				2	
底生動物による川の水環境評価の判定		IV				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	白川 (水系 白川)		
調査地点名	泰平橋 南側		
調査団体名	熊本市立向山小学校		
代表者名	参加人数	79 人	
連絡先住所			
調査年月日	令和5年9月13日	調査時間	10:00~11:00
調査日天候	晴れ	気温	℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 3点 階級 V			

2. 水質を調べる

水温	℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 2.4点 階級 IV			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.6点 階級 IV			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類					
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ					
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)					
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類					●
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジュスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	2			1
	最も多い種の数(●)				1	
	得点の合計	2			2	
底生動物による川の水環境評価の判定		III				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	東迫川 (水系)		
調査地点名	赤崎体育館		
調査団体名	天草市社会福祉協会有明支所		
代表者名	参加人数	15人	
連絡先住所			
調査年月日	令和5年8月17日	調査時間	10:00~11:30
調査日天候	晴れ	気温	31.6 °C

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)/2 = 2点 階級 III			

2. 水質を調べる

水温	25.0 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.8点 階級 III			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロ	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 1.8点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

4. 底生動物を調べる

階級	No. <small>しひょうせいぶつめい</small> 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快 適 な 水 環 境 (I)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類					
親 し め る 水 環 境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類					
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不 快 を 感 じ な い 水 環 境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)					
水 多 少 不 快 な 水 環 境 (IV)	18. 貝類				●	
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不 快 な 水 環 境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジュスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	1		1	1
	最も多い種の数(●)				1	
	得点の合計	1		1	2	
底生動物による 川の水環境評価の判定		IV				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	日向川 (水系 合志川)		
調査地点名	菊池市泗水町永		
調査団体名	菊池市立泗水東小学校、菊池管内環境活動協議会		
代表者名	参加人数	50 人	
連絡先住所			
調査年月日	令和5年10月3日	調査時間	10時~11時30分
調査日天候	晴	気温	32 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)/2 = 2.5 点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	°C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 2.0 点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

指標生物が昨年より多く採取できた。また、昨年同様サワガニが多く採取できた。指標生物以外ではエビ類が異常発生していた。また、やご、ゲンゴロウ、どんこなども多かった。



年

川の水環境調査記録用紙(その2)

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	●				
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類		○			
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類					
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ			○		
	14. ヒラタドロムシ					
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)					
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類				○	
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					○
	23. イトミズ類					
	24. セスジュスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	3	1	2	1
	最も多い種の数(●)	1				
	得点の合計	4	1	2	1	1
底生動物による川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	繁根木川 (菊池川水系)		
調査地点名	廣福寺橋周辺		
調査団体名	玉名市環境整備課		
代表者名	参加人数	10 人	
連絡先住所			
調査年月日	令和5年7月29日	調査時間	8:30~10:00
調査日天候	晴れ	気温	26.0℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2点 階級 III			

2. 水質を調べる

水温	24.0℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2点 階級 III			

メモ:

今回の調査について、調査地点付近が3月頃までしゅんせつ工事を行っていた影響もあり、川の生き物たちが以前調査していた時と変化していた。しかし、少しずつ戻ってきているとも感じたので、今後も継続して調査していきたい。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ					
	15. コカゲロウ類			●		
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)					
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジュスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	2	1	1	
	最も多い種の数(●)			1		
	得点の合計	2	1	2	0	0
底生動物による川の水環境評価の判定		II				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	坪井川 (水系 坪井川)		
調査地点名	栄橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	4人	
連絡先住所			
調査年月日	令和5年8月26日	調査時間	8:50
調査日天候	晴れ	気温	27.5 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	② 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5 点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	23.2 °C		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	② 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	2. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	③ 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.6 点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	③ ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	③ しずいし 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	③ みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. すなどろ 砂泥	③ どろ ふはい 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① ちやうしよく 茶緑色	2. みどりいろ 緑色	3. しろはいくろしよく 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.2 点 階級 II			

メモ:

- ・ 川底まで確認する事ができた。
- ・ 人工のブロックが敷かれていた。
- ・ 水は綺麗に見えた。



川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	梶尾川 (水系 坪井川)		
調査地点名	北部坪井橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	26人	
連絡先住所			
調査年月日	令和5年8月26日	調査時間	8:51
調査日天候	晴れ	気温	27.5 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	② 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5 点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	23.8 °C		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	② 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	2. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	① 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.2 点 階級 II			

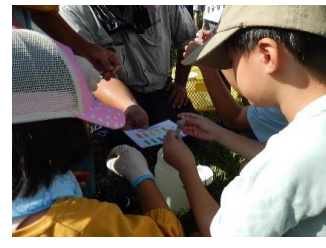
3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	③ ひらさ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	③ 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	③ みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	② すなどろ 砂泥	3. どろ ふはい 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	② 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.2 点 階級 III			

メモ:

- ・水量は少なく、水は滞留していた。
- ・川底には泥や砂が溜まっていた。
- ・泡が見られた。



川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	坪井川 (水系 坪井川)		
調査地点名	鶴羽田橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	22人	
連絡先住所			
調査年月日	令和5年8月26日	調査時間	8:22
調査日天候	晴れ	気温	27.5 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5 点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	24.0 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	2. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.6 点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ早瀬	3. ひら瀬平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.0 点 階級 III			

メモ:

- ・水深は膝ぐらいだった。
- ・川底には砂が溜まっていた。
- ・泡が見られた。



川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	坪井川 (水系 <small>すいけい</small> 坪井川 <small>つほいがわ</small>)		
調査地点名	平成大橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	17人	
連絡先住所			
調査年月日	令和5年9月2日	調査時間	9:15
調査日天候	曇	気温	28.2℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 <small>けいりゅういき</small>	2. 山間流域 <small>さんかんりゅういき</small>	③ 平地流域 <small>へいちりゅういき</small>
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	③ 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 3 点 階級 V			

2. 水質を調べる

水温	24.6 °C		
a. 水の色	1. 無色	② 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	② 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	2. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	① 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.4 点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ <small>はやせ</small> 早瀬	③ ひらせ <small>ひらせ</small> 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石 <small>うきいし</small>	③ しずいし <small>しずいし</small> 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	③ みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	② すなどろ <small>すなどろ</small> 砂泥	3. どろふはい <small>どろふはい</small> 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① ちやうしよく <small>ちやうしよく</small> 茶緑色	2. みどりいろ <small>みどりいろ</small> 緑色	3. しろはいくろしよく <small>しろはいくろしよく</small> 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	② 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.2 点 階級 III			

メモ:

- ・ 魚がいっぱいいた。
- ・ トンボがいた。
- ・ 新聞紙等のゴミが流れていた。
- ・ 泡が浮いていた。



川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	坪井川 (水系 坪井川)		
調査地点名	高橋稲荷大橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	17人	
連絡先住所			
調査年月日	令和5年9月2日	調査時間	9:20
調査日天候	曇	気温	28.2℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	③ 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 3.0 点 階級 V			

2. 水質を調べる

水温	26.2 °C		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	③ 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	2. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	③ 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.8 点 階級 III			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	③ ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	③ 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	③ みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	② すなどろ 砂泥	3. どろ ふはい 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	② 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	② 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.4 点 階級 IV			

メモ:

- ・ 鯉、アメンボがいた。
- ・ 川岸にペットボトルなどのゴミが多かった。
- ・ 前日の雨で水が濁って川底が見えなかった。
- ・ 海側から水が逆流していた。



川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	井芹川 (水系 <small>すいけい</small> 坪井川 <small>つぼいがわ</small>)		
調査地点名	第1池上橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	17人	
連絡先住所			
調査年月日	令和5年9月2日	調査時間	10:10
調査日天候	曇	気温	28.2℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 <small>けいりゅういき</small>	2. 山間流域 <small>さんかんりゅういき</small>	③ 平地流域 <small>へいちりゅういき</small>
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	③ 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 3.0 点 階級 V			

2. 水質を調べる

水温	26.5 °C		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	③ 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	2. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	① 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.4 点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ <small>はやせ</small> 早瀬	③ ひらせ <small>ひらせ</small> 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石 <small>うきいし</small>	③ 沈み石 <small>しずいし</small>	
g. 石の大きさ	1. すいか	② メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	② すなどろ <small>すなどろ</small> 砂泥	3. どろふはい <small>どろふはい</small> 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色 <small>ちやりくしよく</small>	② 緑色 <small>ろどりいろ</small>	3. 白灰黒色 <small>しろはいくろしよく</small>
j. 付着藻類量	1. 少ない	② 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.2 点 階級 III			

メモ:

- ・ 水が濁っていて川底が見えなかった。
- ・ ペットボトル等のゴミが流れていた。
- ・ アメンボがいた。



川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	亀川 (水系 亀川)		
調査地点名	明亀橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	17 人	
連絡先住所			
調査年月日	令和5年8月5日	調査時間	6:30
調査日天候	晴れ	気温	26.5 °C

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	③ 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 3.0 点 階級 V			

2. 水質を調べる

水温	27.0 °C		
a. 水の色	1. 無色	② 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭		3. 臭いあり
c. 透視度	① 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	2. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	① 5.0mg/L未満		3. 5.0mg/L以上
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.2 点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	③ ひらせ 平瀬		
f. 石の状態	1. 浮き石	③ 沈み石		
g. 石の大きさ	1. すいか	② メロン	3. みかん	
h. 堆積物の種類	1. なし	② すなどろ 砂泥	3. どろ ふはい 泥(腐敗)	
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	② 緑色	3. 白灰黒色	
j. 付着藻類量	① 少ない		2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.0 点 階級 III				

メモ:

- ・ 水温が高く水の色が少し緑茶色だった
- ・ 川底には砂泥が溜まっていた。
- ・ 例年より水量が少なく感じた。



川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	亀川 (水系 亀川)		
調査地点名	樋渡橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	17 人	
連絡先住所			
調査年月日	令和5年8月5日	調査時間	7:00
調査日天候	晴れ	気温	28.5℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	② 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	② 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.0 点 階級 III			

2. 水質を調べる

水温	26.0 °C		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	① 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	2. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	① 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	③ ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	③ 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	② メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	② すなどろ 砂泥	3. どろ ふはい 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	② 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.0 点 階級 III			

メモ:

- ・ゴミ等も少なく水は綺麗だった。
- ・小魚が泳いでいたのが見えた。
- ・川底まで綺麗に見えた。



川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	木山川 (水系 水系 緑川)		
調査地点名	荒瀬橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	9人	
連絡先住所			
調査年月日	令和5年8月6日	調査時間	9:20
調査日天候	晴	気温	29.0℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	② 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	① 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 1.5 点 階級 II			

2. 水質を調べる

水温	21.0℃		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	① 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	① 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	① 早瀬	ひらせ	平瀬
f. 石の状態	① 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	① すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	① なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.0 点 階級 I			

メモ:

- ・7月の大雨の影響で、法面や川底のコンクリートブロックが剥がされていて、部分的に土砂が堆積していた。
- ・流れている水は綺麗だった。



川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	木山川	水系	みどりかわ 緑川
調査地点名	三竹橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名		参加人数	12人
連絡先住所			
調査年月日	令和5年8月6日	調査時間	9:15
調査日天候	晴	気温	26.8℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	② 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5 点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	22.0℃		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	① 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	① 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	③ ひらた 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	③ 沈み石	
g. 石の大きさ	① すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	② すなどろ	3. どろ 腐敗
i. 付着藻類色	① 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.6 点 階級 II			

メモ:

- ・鯉が泳いでいた。
- ・トンボが飛んでいた。



川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	木山川 (水系 水系)	みどりかわ (緑川)
調査地点名	五楽橋付近	
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社	
代表者名	参加人数	9人
連絡先住所		
調査年月日	令和5年8月6日	調査時間 9:10
調査日天候	晴	気温 29.5℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
IV	多少不快な水環境	2.5	2.0	2.0
			2.2	2.2
V	不快な水環境	3.0	2.4	2.4
			2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 (1)	2. 山間流域 (2)	3. 平地流域 (3)
B. 川の背景	1. 森林 (1)	2. 畑・水田 (2)	3. 市街地 (3)
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	25.0℃		
a. 水の色	1. 無色 (1)	2. 緑茶色 (2)	3. 白・灰・黒色 (3)
b. 水の臭い	1. 無臭 (1)	3. 臭いあり (3)	
c. 透視度	1. 80cm以上 (1)	2. 60cm以上 (2)	3. 60cm未満 (3)
d. pH	1. 6.5~8.5 (1)	3. 6.4以下 (2)	3. 8.6以上 (3)
e. COD	1. 5.0mg/L未満 (1)	3. 5.0mg/L以上 (3)	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.6点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	1. 早瀬 (1)	2. 平瀬 (2)	
f. 石の状態	1. 浮き石 (1)	2. 沈み石 (2)	
g. 石の大きさ	1. すいか (1)	2. メロン (2)	3. みかん (3)
h. 堆積物の種類	1. なし (1)	2. 砂泥 (2)	3. 泥(腐敗) (3)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色 (1)	2. 緑色 (2)	3. 白灰黒色 (3)
j. 付着藻類量	1. 少ない (1)	2. 多い (2)	3. マット状 (3)
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.0点 階級 III			

メモ:

- ・ ハヤ、メダカ等の小魚が見られました。
- ・ 川底はしっかり見えていました。
- ・ 透視度100cm以上
- ・ 五楽橋周辺のゴミ拾いを行いました。





川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	河内川 (水系 河内川)		
調査地点名	熊本県天草市栖本町馬場		
調査団体名	天草市立栖本小学校 天草広域本部土木部維持管理課		
代表者名	参加人数	20 人	
連絡先住所			
調査年月日	令和5年9月13日	調査時間	9:35~12:00
調査日天候	晴れ	気温	30℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2 1.4 1.6	1.2 1.4 1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8 2.0 2.2	1.8 2.0 2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4 2.6	2.4 2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8 3.0	2.8 3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 $(A+B) \div 2 = 2$ 点 階級 III			

2. 水質を調べる

水温	℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 $(a+b+c+d+e) \div 5 = 1.5$ 点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 $(f+g+h+i+j) \div 5 = 1.6$ 点 階級 I			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくのと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類		●			
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ			○		
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)					
水環境 (IV) 多少不快な	18. 貝類				○	
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)	2	2	2	1	
	最も多い種の数(●)		1			
	得点の合計	2	3	2	1	
底生動物による川の水環境評価の判定		II				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	久玉川 (水系 久玉川)		
調査地点名	熊本県天草市牛深町久玉		
調査団体名	天草市立牛深東小学校 天草広域本部土木部維持管理課		
代表者名	参加人数	13 人	
連絡先住所			
調査年月日	令和5年10月13日	調査時間	8:40~11:15
調査日天候	晴れ	気温	25℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 $(A+B)/2 = 2$ 点 階級 III			

2. 水質を調べる

水温	℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満		3. 5.0mg/L以上
②水質評価点 $(a+b+c+d+e)/5 = 1.25$ 点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 $(f+g+h+i+j)/5 = 1.6$ 点 階級 I			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	●				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		○			
不快を感じない水環境 (III)	12. ブユ類・ガガンボ類					
	13. カワニナ			○		
	14. ヒラタドロムシ					
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ					
多少不快な水環境 (IV)	17. ユスリカ類(白・緑)					
	18. 貝類				○	
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
不快な水環境 (V)	21. ヒル類					
	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジュスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)	3	2	1	1	
	最も多い種の数(●)	1				
	得点の合計	4	2	1	1	
底生動物による川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	竜野川 (水系 緑川)		
調査地点名	上益城郡甲佐町上早川		
調査団体名	甲佐町立龍野小学校		
代表者名	参加人数	130 人	
連絡先住所			
調査年月日	令和5年9月12日	調査時間	10:00
調査日天候	快晴	気温	30℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2点 階級 III			

2. 水質を調べる

水温	25℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類	○				
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類	●				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)		○			
	9. ヘビトンボ類		○			
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類		○			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ					
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)					
水環境 (IV) 多少不快な	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	4	4	1	
	最も多い種の数(●)	1				
	得点の合計	5	4	1		
底生動物による川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	御船川 (水系 緑川)		
調査地点名	御船橋		
調査団体名	御船町立御船小学校 4年生		
代表者名	参加人数	77人	
連絡先住所			
調査年月日	令和5年9月28日	調査時間	9:30
調査日天候	晴れ	気温	27.4℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 3点 階級 V			

2. 水質を調べる

水温	24.1℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.6点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類		○			
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ					
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)					
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジュスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)	1				
	最も多い種の数(●)	2				
	得点の合計	3	2	2		
底生動物による川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	浜戸川・小熊野川合流点 (水系 緑川)		
調査地点名	宇城市豊野町巢林 浜戸川・小熊野川合流地点		
調査団体名	豊野町みどりの少年団		
代表者名	参加人数	25 人	
連絡先住所			
調査年月日	令和5年9月23日	調査時間	9:00
調査日天候	晴れ	気温	23℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点	(A+B) / 2 = 2.5点 階級 IV		

2. 水質を調べる

水温	21.5℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点	(a+b+c+d+e) / 5 = 2.0点 階級 II		

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点	(f+g+h+i+j) / 5 = 1.8点 階級 III		

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

エビ 魚(カワムツ) ヤゴ(ハプロトンボ)

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)		○			
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類		●			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)			○		
水環境 (IV) 多少不快な	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類				○	
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジュスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	0	2	4	1
	最も多い種の数(●)		1			
	得点の合計	0	3	4	1	0
底生動物による川の水環境評価の判定		III				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	袋川 (水系)		
調査地点名	中流～下流		
調査団体名	水俣市立袋小学校3年生		
代表者名	参加人数	21人	
連絡先住所			
調査年月日	令和5年10月17日	調査時間	9時～10時
調査日天候	晴れ	気温	25℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	18℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5～8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.2点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロ	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.8点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

生物の活動が少なくなり始める時期での調査であったことから、指標となる底生動物が殆ど見られなかった。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	●				
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類					
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ			●		
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)					
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類					●
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジュスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	1	0	2	1
	最も多い種の数(●)	1	0	1	1	0
	得点の合計	2	0	3	2	0
底生動物による川の水環境評価の判定		III				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	矢護川 (水系 菊池川)		
調査地点名	矢護川公園		
調査団体名	大津北小学校、菊池管内環境活動協議会		
代表者名	参加人数	14 人	
連絡先住所			
調査年月日	令和5年9月21日	調査時間	9:30
調査日天候	雨	気温	29℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 $(A+B)/2 = 2$ 点 階級 III			

2. 水質を調べる

水温	18℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 $(a+b+c+d+e)/5 = 1$ 点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 $(f+g+h+i+j)/5 = 1.2$ 点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。



年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	平川 (水系 菊池川)		
調査地点名	大津北小学校近くのリフレッシュ広場付近		
調査団体名	大津北小学校、菊池管内環境活動協議会		
代表者名	参加人数	14 人	
連絡先住所			
調査年月日	令和5年9月21日	調査時間	9:30
調査日天候	雨	気温	29℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	20℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.4点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。



年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	地下水(地域飲料水) (水系)		
調査地点名	大津町平川地区		
調査団体名	大津北小学校、菊池管内環境活動協議会		
代表者名	参加人数	14 人	
連絡先住所			
調査年月日	令和5年9月21日	調査時間	9:30
調査日天候	雨	気温	29℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 $(A+B) \div 2 = 1.5$ 点 階級 II			

2. 水質を調べる

水温	15℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 $(a+b+c+d+e) \div 5 = 1$ 点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 $(f+g+h+i+j) \div 5 =$ 点 階級			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。



年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	通潤用水 (水系 緑川)		
調査地点名	円形分土工		
調査団体名	大津北小学校、菊池管内環境活動協議会		
代表者名	参加人数	14 人	
連絡先住所			
調査年月日	令和5年9月21日	調査時間	9:30
調査日天候	雨	気温	29℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 溪流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点	$(A+B) \div 2 = 1$ 点 階級 I		

2. 水質を調べる

水温	15℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点	$(a+b+c+d+e) \div 5 = 1$ 点 階級 I		

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点	$(f+g+h+i+j) \div 5 =$ 点 階級		

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくのと後で便利です。



川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	大谷川(上流支流) (水系 球磨川)		
調査地点名	錦町一武3040地先		
調査団体名	一武小学校(4年生)		
代表者名	参加人数	43 人	
連絡先住所			
調査年月日	令和5年10月17日	調査時間	9:45~10:45
調査日天候	晴れ	気温	23 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)/2 = 2.5点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	18 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.4点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 1.8点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

総合評価

評価基礎点=2.5点 > 水質評価点=1.4点 (快適な水環境)

⇒ 良好である

評価基礎点=2.5点 > 川底評価点=1.8点 (不快を感じない水環境)

⇒ 良好である

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類		○			
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類					
	12. ブユ類・ガガンボ類		○			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ			○		
	14. ヒラタドロムシ					
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類					●
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					○
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					○
	23. イトミズ類					○
	24. セスジュスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					○
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	2	2	3	2
	最も多い種の数(●)				1	
	得点の合計	2	2	3	3	3
底生動物による川の水環境評価の判定		IV				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	関川 (水系 関川)		
調査地点名	南関第二小学校そば		
調査団体名	熊本県環境センター 南関町立南関第二小学校5年生		
代表者名	参加人数	21 人	
連絡先住所			
調査年月日	令和5年9月5日	調査時間	14:00
調査日天候	曇	気温	32°C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 $(A+B)/2 = 2.5$ 点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	29 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 $(a+b+c+d+e)/5 = 1.4$ 点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 $(f+g+h+i+j)/5 = 2.0$ 点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類		○			
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類		●			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ					
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)					
水環境 (IV) 多少不快な	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジュスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	2	2		
	最も多い種の数(●)		1			
	得点の合計	2	3			
底生動物による川の水環境評価の判定		II				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	湯出川 (水系 水俣川)		
調査地点名	小崎公園付近		
調査団体名	熊本県環境センター 水俣市立水俣第一小学校4年生		
代表者名	参加人数	111 人	
連絡先住所			
調査年月日	令和5年9月14日	調査時間	10:00
調査日天候	曇	気温	27.5℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 3.0点 階級 V			

2. 水質を調べる

水温	24.5 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロ	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.2点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくのと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類		○			
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		●			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ			○		
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)					
水環境 (IV) 多少不快な	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類				○	
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					○
	24. セスジュスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	6	3	3	1
	最も多い種の数(●)		1			
	得点の合計	6	3	3	1	1
底生動物による川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	内田川 (水系 菊池川)		
調査地点名	柴尾橋付近		
調査団体名	熊本県環境センター 南関町立南関第四小学校4年生		
代表者名	参加人数	23 人	
連絡先住所			
調査年月日	令和5年10月17日	調査時間	10:00
調査日天候	晴れ	気温	23℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の 快適さ	①評価の 基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる 水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じな い水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な 水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)/2 = 2.5点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	17℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロ	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 1.8点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	●				
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類					
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ			○		
	14. ヒラタドロムシ					
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)					
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類				○	
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジュスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	3		1	1
	最も多い種の数(●)	1				
	得点の合計	4		1	1	
底生動物による川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

熊本県環境生活部環境局環境保全課

〒862-8570

熊本市中央区水前寺六丁目 18 番 1 号

電話 096-333-2271

E-mail: kankyouhozen@pref.kumamoto.lg.jp

ホームページ

<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/51/140359.html>

発 行 者 : 熊本県 所 属 : 環境保全課 発行年度 : 令和 5 年度 (2023 年度)
